

令和 7 年 5 月 1 日

川崎市議会議長 青 木 功 雄 様

多摩区在住者

労務費に関する陳情

陳 情 の 要 旨

教育委員会における各部署の労務費（給与費）の管理体制を整備していただきたい。

陳 情 の 理 由

現在、教育委員会では全体の給与予算については給与厚生課が所管していますが、個々の部署ごとの労務費管理は行われていないとの回答を所管課から得ました。しかしながら、財政健全化と限られた予算の有効活用を図るためには、各部署単位での労務費管理が不可欠であると考えます。

具体的な効果として、以下の 3 点が挙げられます。

1 無駄な支出の削減

各部署の労務費を可視化することで、人員過剰や不要な超過勤務の抑制が可能となり、人的コストを最適化できます。結果として、市全体の人件費削減に直結します。

2 迅速かつ効果的な財源再配分

部署単位で労務費の執行状況を管理することで、余剰や不足を早期に把握し、必要に応じて柔軟な財源移動ができるため、財政運営の無駄を防ぐことができます。

3 予算執行の透明性と市民への説明責任の向上

労務費管理が徹底されることで、教育予算の使用実態が明確になり、市民

への説明責任を果たすとともに、信頼性の高い財政運営が実現します。

以上により、教育委員会においては個々の部署ごとの労務費を明確に把握・管理する体制を早急に整備していただくことを強く要望いたします。